

「進路」は自分の生き方を考えること

2018年度がスタートし1ヶ月が経ちました。3年生は受験に向けて準備を開始している人もいるでしょう。2年生は上級学校見学会で大学や専門学校がどのようなところなのかを自分の目で見てきました。1年生は進学に関して大規模な改革が導入されることが決まっています。先日行われた現在進路希望調査の結果を集計結果がまとまりました。このような進路関係の行事のたびに、まだ、決まっていない諸君は、取りあえず考える時間を作って下さい。自分の生き方をじっくり考えることが進路選択で最も重要になる部分です。そして大事なのは、相談したり、聞いたり、調べてみることです。「なんとなく」を「より確かなもの」にして欲しい。以下、それぞれの学年にアドバイスを書きます。

1 学年・・・入試改革の一期生 『思考力』がカギ

先日、進路希望調査が行われました。すでに、目標を持っている諸君は、それを実現するためには何をすれば良いのかこれから調べて行きましょう。そして、何をすれば良いのか分かったら、さっそく毎日の生活の中で生かしていきましょう。まだ、考えてもいないやという諸君は、考えるきっかけにもらいたい。自分の夢を描くことが大事なのであって、その夢が実現できるかどうかにこだわりすぎないでもらいたい。中学生の頃から、密かに胸の中にしまってある夢はきっと誰にでもあるはずです。その夢に一番近い分野を一步踏み込んで調べてみて欲しい。そして、やはり、どうすれば実現できるのかを調べて行くことが大切です。これから、半年後には、2年生に向けて普通科では文理選択があります。その時、迷わないように、これからの数ヶ月の間に調べ、考え、相談をして行きましょう。是非、早い時期に内に一度進路指導室を訪ねて下さい。

先日行った進路希望調査の結果によると、進路希望未定者を除き、4大・短大への進学希望を持っている人は約45%となっています。入試制度が大きく変わる年に該当する諸君はその分、入試のシステムについてより情報をしっかりつかんでいく必要があります。今回の入試改革では『思考力』がキーワードになっています。コンピュータも徐々に「思考力」をもつことができるようになってきていますが、人間にしか出来ないこと、人間だからこそできることはまだまだたくさんあります。そのような資質を身につけていくことが今の若者達には強く求められていくのです。自分で自分なりに『考える』ことができる、『思考力』を持った人材が求められることになるということをしっかり受け止めてください。

『思考力』をはどうやって伸ばしていくのか？ 考えるためには情報が必要です。何も知らない人は考えることもできません。「情報を入手し、自分の意見を持つ」ことを習慣にしたい。そのために重要になるのが読書です。新聞でも書籍でも、毎日親しむことです。

ところで、「陽だまりトーク」で紹介した、正8面体を水平面において、真上から見たらどのような図形に見えるのかという問（かつて東京大学の入試問題で出題された）の答えはわかりましたか？ これも、答えを知っていきましょうという性質のものではありません。恐らくその時の受検生のほとんどが、答えは知らなかっただろうと思います。覚えることではなく、考える力が試されているということです。

2学年・・・オープンキャンパスで志望を固める年

高校生活の1/3が終わり、この4月からはクラス単位ではなく、講座にわかれて、授業が展開されています。そして、上級学校見学会では自分の目で大学や専門学校を見てきました。おおまかに上級学校のイメージはつかめたかと思いますが、次の段階として、実際に自分が行きたい学校を見学することが求められます。同じような内容を学べる大学や専門学校は一つではありません。その中から自分の行きたい学校を一つに絞るには、「比較」することも必要です。「ここがいいかな」と思ったら、あるいは「どうしてもその学校で学びたい」と思ったら、その目標に向かって頑張れるはずですよ。安易な妥協をせず、最後まで頑張り抜くこと。

進路希望調査の結果では2年生の約40%の人が4大・短大への進学を希望していることがわかりました。大学・短大は、受け入れてもらえるだけの学力を身につけておくことが重要であることは言うまでもありませんが、入学後、卒業後のことも見据えておかなければなりません。自分の生き方を考えるということです。

目標の設定は2年次のうちにほぼ固めておきたい。3年になってからでは手遅れになる場合もあります。3年になると、早い人は夏休みくらいから試験が始まります。志望動機や小論文、面接の準備をその時期まで仕上げなければならないわけで、その時になって慌てることのないよう、今から具体的に準備を始めてほしいところです。理系、文系の選択だけで、学科などが具体的にない諸君も多いと思います。特に大学を目指している人に多い傾向かもしれませんが、学科についてはそんなに焦って決める必要はありません。まず、しっかりと得意科目を作ること。それから苦手科目の克服です。これは時間がかかると思って学習に取り組んで下さい。分野については、得意科目、苦手科目でずいぶん左右されてしまいます。分野が定まっている諸君は、得意科目をより確かなものにし、苦手科目をつくらないこと。また入試方式（推薦、AO、一般入試）を知ることも重要です。注意して欲しいのは近年、推薦・AOといえども、学科試験を課す大学が増えてきていること。また「小論文」という名の下に英語力を問うというケースも珍しくありません。その意味で基礎学力の養成は不可欠なのです。本格的な勉強は3年になってからと思っていると、語彙力不足という深刻な問題を乗り越えられずに試験本番に突入することになりかねません。

上級学校のオープンキャンパスや就業体験から自分の進路希望を固めていくというのが、2年生です。キャリア教育の一環で夏休み中に、体験学習をしてもらう予定になっていますが、それ以外にも、どんどん積極的にオープンキャンパスや進路相談会に参加して下さい。その都度、案内をして行きます。参加することで、漠然としていた進路希望が、明確になり、具体的な目標を定める良い機会になります。

3学年・・・希望を実現させる年 真剣勝負！

受験モードは大会が終わってからと思っている人はいませんか。はっきり言って、「大会が終わってから」では遅すぎるのです。「受け入れてくれる大学ならどこでもいい」というのなら、話は別ですが、そういう人に限って、大会が終わっても何も始められず、いたずらに時間だけが過ぎてしまうものです。大会は大事です。自分の進路希望の実現も大事です。だから、この時期こそ本当の意味での文武両道の実現が求められているのです。3年のこの時期になると、進路の希望はかなり明確に決まっていると思

います。しかし中にはまだ曖昧な人もいるかもしれません。3年で進路方向がフラフラしてしまうのは、進路実現にとって大敵です。最悪、遅くとも夏休み明けの2回目の最終進路希望調査では、担任の先生にはっきり言えるようにしてほしいところです。

特に、大学進学を考えている諸君に伝えておきたいことがあります。目標は高く持って下さい。そして、最後まで粘り強く、学習に取り組んで下さい。模試でのE判定で腐る必要は全然ありません。そもそも、諸君は本当に真剣に勉強して模試に臨みましたか。限界ぎりぎりまでやって模試に臨みましたか。E判定でショックを受けている暇があったら、8ヶ月後のセンター試験に向けて、出来なかった問題を一つでも出来るようにしていくことです。その積み重ねこそ自分を変えていくことにつながるのです。今は、大会のことで頭がいっぱい、時間もいっぱい、という状況の人が多いたと思いますが、クラブ活動が終わったところで、本気モードに切り替えてください。そして、一度、自分の本当にギリギリと思えるところまで勉強してみてください。努力の結果が模試に表れるのは少なくとも2～3ヶ月はかかると言われています。模試の結果で一喜一憂するのは意味が無いのです。

ラクをしようという気持ちで最初から、推薦・AOに頼らないこと。ただ、評定値が足りているから、場所が良いから程度の理由だけで選択するのは絶対やめましょう。目標を高く持ち、最後まで粘って、自分の目標を実現した先輩たちがたくさんいます。また、上級学校を希望している諸君、全員に当てはまることですが、当然、進学先はお金がかかります。自分ひとりの力ではどうにもならないところです。およその希望進学先が決定してきたところで、入学金や授業料までしっかり確認して、お家の人と相談しておいて下さい。保護者にしてみれば急に言われてなんとかなるような金額ではないのです。

模試の積極的活用をなどの活用！

皆さんは模擬試験をどのように利用してきましたか？個人票を見て終わりにしていませんか。あるいは個人票の見方すらよくわからないままにいませんか。模試は学力の診断という意味で非常に重要な情報を提供してくれています。全国平均と比べてどの分野が良くて、どの分野が悪いのかが一目瞭然なのです。意識して力を入れて欲しい分野を指摘してもらったら、そこから先の取組が重要になってくるのです。今回わからなかった問題、間違えた問題を次回には得点につなげられるようにすることが模試の最大の受験目的なのです。志望校に対して可能性がどうなのかを論じるには時期尚早というものです。今は、「前回より今回、今回より次回」というイメージで模試を利用してもらいたい。受けっぱなしでは何のために時間とお金を使ったのかわかりません。これから何を勉強して行けば良いかつかむこと。模試は反省材料です。反省を生かせば、必ず、次の結果に反映されます。その意味で、上手に模試結果を活用して行きましょう。模試を受けるのことに楽しみを感じるようになれば、本物です。但し、模試はあくまで練習試合です。この結果が「合格」を保証してくれるものではないということも承知しておいてもらいたい。

< 1, 2 学年 進路指導計画 (主な内容) >

- 5月 マナビジョン説明会 (eポートフォリオ 1年)
就業体験活動説明会 進路講演会 (PTA 総会) 1学期中間考査 (5/22~24)
- 6月 進学相談会 (信毎主催) (6/13) 1学期期末考査 (6/20~22)
- 7月 進研総合学力テスト (7/7) 夢ナビライブ (7/14) オープンキャンパス説明会 (7/11) 保護者懇談会 公務員出前講座 学習合宿 (7/30~8/1 1年) オープンキャンパス (2年)
- 8月 進学補習
実力テスト 信大入試研究会 (1~3年)
- 9月 ふれあい講座Ⅱ (9/5 2年) 文理選択説明会 (9/5 1年) 2学期中間考査
- 10月 公務員模試・看護医療模試 (10/6 2年) ふれあい講座Ⅰ (10/22 1年)
就業体験学習 (10/23~24)
- 11月 進研総合学力テスト (11/3) 大学出前授業 (11/14) 2学期期末考査
- 12月 公務員対策講座 保護者懇談会 県内大学研究会 (12/19)
- 1月 実力テスト (1/9) 進研総合学力テスト・看護医療系模試 (1/19)
センターチャレンジ (1/23)
- 2月 進路講演会 (2/2) 進研センター試験早期対策模試 (2/10 2年)
3学期期末考査
- 3月 小論文講座

< 3 学年 進路指導計画 (主な内容) >

- 5月 公務員模試 (5/19) 進路室面談 (就職希望・国公立大希望) 進路講演会 (PTA 総会)
1学期中間考査 (5/22~24)
- 6月 進研マーク模試 (6/9~10) 事業所見学会 国家公務員出願
- 7月 進研記述模試・看護医療模試 (7/7~8) 求人票提示 夢ナビライブ (7/14)
保護者懇談会 国公立大推薦校内選考会 第2回全統マーク模試 (7/28~29)
地方公務員関係出願 公務員・就職模試 夏期補習授業 小論文ガイダンス
- 8月 進学補習 一日看護師体験 学習マラソン (8/20~22) 小論文模試
指定校推薦校内選考会 信大入試研究会
- 9月 駿台・ベネッセ共催マーク模試①・看護医療模試 (9/15) センター試験出願説明会
- 10月 推薦入試受験指導 (志願理由書・小論文・面接) センター試験出願 第3回全統マーク模試
推薦入試出願
- 11月 駿台・ベネッセ共催マーク模試② 全統プレマーク模試 推薦入試
- 12月 特別編成授業 保護者懇談会
- 1月 直前対策テスト 直前補習 センター試験 (1/19~20) 国公立大2次試験出願
私大一般入試・センター試験利用出願